

「連合会からの飛躍 新しい日本YEG」へ

日本YEGとして約28,000名の同志にとって、より有益かつ合理的な情報伝達システムの構築が、これまでの歴代広報委員会によって図られてきました。しかしながら高度な情報化社会は続き、ますます発展の一途をたどっています。

これからの広報委員会の広報活動は、デジタル+アナログを織り交ぜることで、情報伝達の強化、また発信をしていかなければなりません。そのために、日本YEGが共に心を併せ、内から外へのブランド発信を行う（外部から評価を得られる）広報活動を行ってきました。外部からの評価が、各単会YEGに伝わることで、公共利益集団としての会員約28,000名の誇りとするべく活動を結び付けるような広報活動を実施してきました。また広報委員会が、全国各地のYEGを内から外へブランド力を向上させることで、活躍するフィールドを広げるためのお手伝いをこれからも力をいれていく必要があります。

（内から外へYEG一揆大作戦）日本を繋ぐ

日本YEGは、30周年を迎えます。これを期に、「連合会からの飛躍 新しい日本YEG」への新たなスタートの年となりました。日本YEGとして約28,000名の同志にとって、より有益かつ合理的な情報伝達システムの構築が、これまでの歴代広報委員会によって図られてきました。広報委員会は、新しくデジタル+アナログを加えることで、ますますの情報伝達の強化を図っております。未来のために、日本YEGが共に心を併せ、内から外へのブランド発信を行う広報活動をますます発展させ、外部からの評価が、YEG内に伝わることで、公共利益集団としての会員約28,000名の誇りとなるべく活動に結び付けます。国を守り、国を拓くのは、青年の特権です。時代の先導者としての大きなチャンスがYEGにやってきました。日本YEGの旗の元、各単会YEGが一体となり、今までYEG内でしか評価してこなかった優良な素晴らしいコンテンツを、外部に向けて発信をしてきました。ただの発信は、独りよがりです。しかし、YEG一揆大作戦は、各地のYEGが一気に一斉に、行政、一般社会の評価制度に一揆のような勢いで打って出ます。外部評価が得られることで、「求められる団体」としてYEGブランドと活動をますます広め高めていきます。国家表彰を得るには、継続的な活動による応募が必要です。挑戦し続けることが、YEGブランドを向上させ、事業の質を向上させます。

キーワード：「求められる団体」としてYEGブランド発信、国家が認めたYEG活動